

平成29年度

第5回「医療通訳養成研修」の詳細

青森県立保健大学 川内規会

○研修目的

これまで過去4年間、青森県内のボランティア通訳者や医療者を対象に、医療通訳に必要な「Ⅰ. 知識 Ⅱ. 技術 Ⅲ. 倫理」のそれぞれの基本的概念を知ってもらうことを目的とし、県内の医療現場で活躍できるよう、医療通訳者を養成する研修を企画してきた。特に、一般的な通訳業務と異なり医療という専門的な分野では、必要とされる力が語学力のみではないことを再確認し、実際の医療の現場で医療者と外国人患者の双方を助けられるように、医療の通訳業務が円滑に実践できる力をつけてもらうことがねらいであった。

今年度は5年目を迎えたことから、通訳の講義や演習の他に、実際の医療通訳の現場の様子を共有することを目的とし、通訳業務で必要なことは何かを一緒に考え、情報交換の場にしたい。

○研修対象

対象者：過去の本研修参加者、県内のボランティア通訳者、医療現場で通訳を経験したことのある方、
医療従事者、医療通訳に興味のある方

募集定員：30名程度（国籍は問わない）

○開催日時および会場

日時：2017年10月28日（土）、29日（日）の2日間

10:00～16:30（12:00～13:00 昼食休憩）

場所：青森県立保健大学 A棟1階107教室（正面向かって左側の棟）

○研修内容 研修プログラム

【1日目】

10:00～10:30 講義（川内）：日本の医療通訳の概要

10:30～12:00 講義（三木）：医療通訳の現状と心構え

12:00～13:00 昼食（休憩）

13:00～16:30 演習（三木）：通訳技術

【2日目】

10:00～11:00 講義（川内）：医療通訳倫理と情報交換

11:00～12:00 演習（小笠原）：ロールプレイⅠ

12:00～13:00 昼食（休憩）

13:00～15:30 演習（小笠原）：ロールプレイⅡ

15:30～16:30 グループワーク（川内）：総まとめ

研修講師：三木 紅虹（中国語医療通訳者 RASC コミュニティ通訳支援センター副代表）
川内規会（青森県立保健大学准教授）
小笠原メリッサ（青森県立保健大学講師）

使用言語：講義、説明等は日本語で行い、1日目の演習は日本語で、2日目の演習は英語で行う。

○その他

1. お昼をはさむので、昼食をご持参ください。（近くにコンビニはあります。）
2. 駐車場はご利用できます。
3. 参加費は無料です。

《昨年度の研修風景》

